



2020-21 年度所信表明 会長 山田吉盛

ただいまより、2020-2021 年度会長の所信表明を発表いたします。

当クラブの活動は、定款・細則に従って全てのことを決定し実行します。ただし、2020 年当初よりあらゆる事象に影響をあたえている新型コロナウイルスのような予測不可能な問題による場合は、その都度最善の方法を関係各所と協議して選択します。

近々で言いますと再来週が夜例会ですが、ミナトメディカルの件もありますし、この件につきましても、この後の理事会で協議し、関係各所と連絡を取りながら開催するかしないかを含め決めて行きたいと思っております。少し心配し過ぎかもしれませんが、健康に関わることで、第1に考えていきたいと思っております。



2020-2021 年度当地区のガバナー方針等については、理事・委員長の皆様にはお伝えしましたが、当クラブより選出し重責を担っていただく江上ガバナー補佐をサポートすることも、2020-2021 年度の大切な活動の一つと捉えています。新型コロナウイルスの影響で先を見据えにくいスタートとなりそうですが、1年間皆様に御協力いただき、歴史ある長崎西 RC を運営していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

A：短期目標 ①会員減少による当クラブの財政見直しを行う。野崎幹事よりご説明

②会員増強に本年度も重点を置いて活動する。(具体的方法については会員各位の意見を参考にしながら試行錯誤を繰り返す。)

正直なところ、とにかく会員を増やさないと対外的な活動に支障をきたしそうなレベルに近づいてきていると思います。会員の増強は急務ですので、進めていきたいと思っております。

③会員間の親睦を深め退会者をなるべく減らす努力をする。

④月3回の例会を原則実施して、そのうち1回は夜例会とする。

(夜例会については例会費削減のための窮余の策であり次年度以降は昼例会に戻したい。)

夜例会については、お弁当が出ます。ただし、お昼のお弁当より少々ご馳走なくらいにご理解いただければと思います。お飲み物もご希望でビールくらいはお出する予定です。詳しいことは当日にご説明いたします。会費制になりますが、多数のご参加をお願い致します。また、ウェブ例会についても検討し試験的に実施するところまでやってみたいと思っております。スマホ等で出来るようにしたいと思っておりますが、出来る方出来ない方あると思っておりますが、試験的なものですので、とにかくやれるところまでやってみたいと思っております。これはどこの委員会としてではなく、プロジェクトとしてやってみたいと思っております。まだご本人には相談してませんが、北口副会長を中心に進めていきたいと思っております。次に、今期から新しく作られた戦略計画委員会ですが、昨年度から今年度の地区ガバナーのご意向が強い委員会です。当クラブに於いても将来的に継続できる事業として検討をしたいと考えております。江上ガバナー補佐よりいくつかのヒントをいただいておりますので、委員長を中心に進めていきたいと思っております。

B：中長期目標(継続事業)

①植樹事業(高島) ②マリア園毛布クリーニング ③児童養護施設の子供たちとの交流

④海星インターアクトへの提唱 ⑤藤沢南ロータリークラブとの交流

⑥新規事業を始めるための資料収集(貧困対策、子ども食堂など)

及び、来年の5月には前年度から引き続き、第9・第10グループの親睦ゴルフ大会の世話クラブにもなっております。以上は、基本的に継続事業として推進をしていきたいと思っております。ただコロナのような外的要因で、インターアクトクラブの活動や、藤沢南ロータリークラブとの交流など出来ないことも本年度はあるかと思っておりますので、出来る限りと言う事でやっていきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

■ロータリー財団への年次寄付目標 1人平均150ドル/年間(2019年度目標と同額)

■米山記念奨学会への寄付目標1人平均16,000円/年間(2019年度目標と同額)

■ニコニコ目標 1,200,000円(2019年度目標と同額)

以上、本年度に考えていることをお話いたしました。繰り返しになりますが、どうしてもコロナの影響が依然として続いておりますので、先が見通しにくいと思っております。正直なところ、本年度の前半は対外的な活動はほぼ中止かなとも残念ながら思っており、どちらかという例会とかを中心とした活動になるかなと思っております。事情が許せば活動予定にないことも理事会等を活用して決定し実施させていただきたいと思っております。そこは理事、委員長の皆様のご提案で出来るのではと思っており、何か一つでも計画書に書いてないことが出来たらいいと思っております。せっかく皆様には会費を払ってお忙しい時間をやり繰りし、この場に来て頂いておりますので、西RCの例会に出席している時間は、とにかく楽しく過ごしていただきたいと思っております。最後に、この所信表明で一番お伝えしたかったことは、2年前私が会長に推薦される時に北口副会長から「何でも協力する」と力強いお言葉をいただきましたので、皆様がこの一年を楽しくお過ごしできますよう、楽しいこと、きついこと等、北口副会長を何なりとジャンジャンご活用いただければと思っております。以上、伝統ある長崎西ロータリークラブをより充実し、魅力あるクラブにするために、皆様と一緒に頑張りたいと思っておりますので、御協力よろしくお願いたします。



2020-2021 年度幹事ご挨拶 野崎地平

先ほど会長の所信表明で言われた通り、本年度はとにかく楽しく有意義な年度にしたいと山田会長から聞いております。そのために出来る事は一生懸命協力してやっていきたいと思っております。皆様のご協力があるのクラブですので、皆様のご意見を聞きながら一緒にいい方向に行けたらいいと思っております。褒められて伸びるタイプではありませんが、どんどん叱責していただいても大丈夫ですので、遠慮なくご意見をいただければありがたいと思っております。さて、会長の所信表明の中にありました夜例会、予算の件、会員の人数の件のお話がありました。その中の予算の件をお話させていただきます。皆様ご存知の通り、ここ数年会員の人数が減ってきております。2015年6月末で58名、2020年6月末で40名ということで、5年間で18名の減となっております。これはどういうことを意味するかと言いますと、会の運営資金である会費収入が減ることを意味しています。皆さんの会費収入が月18,000円。12か月で216,000円が18名分減っていることは、5年前に比べるとかなり収入が減っていると言う事をご理解いただければと思います。支出の方もそれに伴って減る部分もあるのですが、固定的に毎月変わらない経費、家賃とか、事務局員給与とかいろんな固定費があり、実は前々年度の預金残高が130万円減っていました。それまでは資金がマイナスになることは無かったのですが、そういう形で前々年度がトータル130万円マイナスになりました。前年度はコロナの影響もあり例会の実施が出来なかった月があり、それにともない支出が減ったりしたのですが、それでもやはり若干70,000円弱減ったようです。そういう事で、会の人数にあった運営をして行こうという取り組みで山田会長が夜例会を取り入れて、皆さんの自己負担もありますが、楽しくやりながら、尚且つ会の運営を人数にあった形でしていきたいと思っております。ただ今年度やってみて、1年でどうなるかはまた次年度検討していただくということになるかと思っております。そういう事で新しい取り組みで夜例会を行いますので、皆様のご意見をお聞きしながらいい方向に変えていきたいと思っております。一年間よろしくお願いたします。



2020-2021 年度理事・役員のご挨拶



北口功幸副会長 柳龍一郎SAA担当理事



嶽本幸次クラブ管理運営プロジェクト担当理事(会長エレクト)



山田孝二会員増強プロジェクト担当理事 竹内幹也公共イメージプロジェクト担当理事



川瀬史奉仕プロジェクト担当理事 古里安幸国際奉仕プロジェクト担当理事



石山俊介青少年プロジェクト担当理事